

蒲生干潟の地形調査97 2024年6月

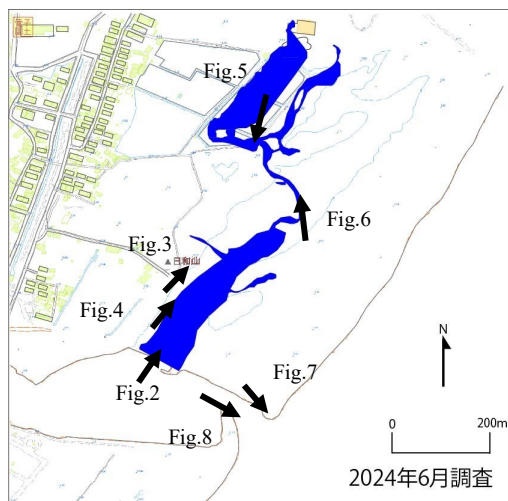


Fig.1 GPS 簡易測量結果



Fig.2 潟湖全体の様子（南側からドローン撮影）



Fig.3 潟湖西側の漂流物



Fig.4 潟湖西側の様子



Fig.5 潟湖中央部の様子（北側からドローン撮影）



Fig.6 潟湖北側の漂流物

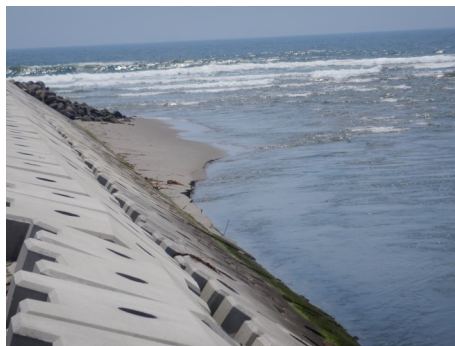


Fig.7 七北田川河口左岸



Fig.8 七北田川河口右岸砂州（ドローン撮影）

調査日 2024年6月12日（水） 9:45～11:15 ※満潮時刻6:01（潮位134cm） 干潮時刻13:30（潮位32cm）

Fig.1は、GPS簡易測量による6月12日の汀線である。今回の調査では、潟湖全体の水量が多くないが、潟湖周辺に漂流物が多く見られ、潟湖の水量が多かった形跡が見られた（Fig.3,6）。潟湖最北部の潟湖は、今回の調査でも出現していた。七北田川河口付近では、右岸砂州が大きく張り出し、左岸では先月に引き続きわずかに砂の堆積が確認できた（Fig.7,8）。

（門脇 駿）